

足田豊治ガラス乾板写真展 開催中



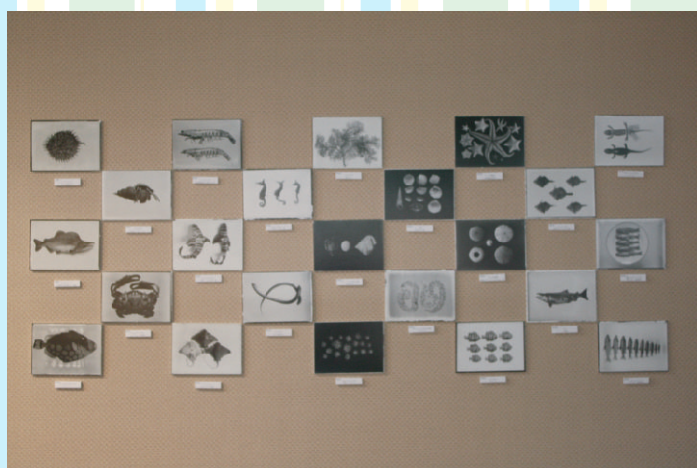
12月6日から小白川図書館一階シアタールームにおいて、山形大学附属博物館平成22年度特別展の第二弾として、「足田豊治ガラス乾板写真展」を開催しています。

今回の展覧会は北海道大学で教鞭をとった庄内出身の魚類学者、足田豊治[明治15(1882)年～昭和49(1974)年]の撮影した写真を故地で紹介する初めての催しとなります。

左: ガラス乾板4枚を足田直筆の乾板メモと共に展示

足田の撮影した写真は6900枚もの膨大な数量が残されており、魚類標本写真のみならず、大正から昭和期にかけての北海道、および出身地である庄内の風景をもおさめた貴重な写真といえます。今回所蔵元である北海道大学総合博物館分館水産科学館との共催によって実現し、人文学部教授阿部成樹先生監修の元、展覧会開催の運びとなりました。

下: 足田の魚類標本写真(パネル)
会場で実際にご覧頂けます。



上: カメに乗る足田豊治
[余ト長亀(厚岸産)余ノ剥製セルモノ] 1931/7/?

足田の眼差し、白と黒が織りなす美しい風景を、この機会に是非お楽しみ下さい。

足田豊治ガラス乾板写真展

2010年12月6日[月]～17日[金]

時間 9:00～17:00

*土日は11:00開場、最終日は15:00閉場

場所 | 小白川図書館一階シアタールーム

* 図書館カウンター向かいの入口に入って直進、角を右に曲がって突き当たりです。

入場無料